

学年	コース	教科	科目	類型	必・選	単位数
2	プログレッシブ 特進一貫	社会	地理・公民		必修	3

#### 講座のねらい

1学期には、1学年で学習した世界の地理に関する知識に加え、日本の地理を学習します。世界および日本の地形・気候・自然・産業などを、地理的な見方・考え方を養いながら、世界と日本の諸地域を学びます。さらに、日本と世界の関わりに注目し、世界の諸地域の特徴を捉えていきます。

2・3学期には、公民的分野を学習します。人権や民主主義の成立過程を学び、それらに基づく日本の法・政治・経済について学習していきます。さらに、日本のみならず、諸外国との関係や地球規模の課題も考えていきます。

#### 使用教材及び問題集

《地理的分野》教科書：「中学社会 地理 地域に学ぶ」 教育出版  
 資料集：「アクティブ地理 総合 世界・日本」 浜島書店  
 問題集：「ウイニング地理Ⅰ・Ⅱ」 好学出版  
 地図帳：「中学校社会科地図」 帝国書院  
 《公民的分野》教科書：「中学社会 公民 ともに生きる」 教育出版  
 資料集：「新しい公民」 浜島書店  
 問題集：「ウイニング社会3」 好学出版

#### 授業の内容と進め方

地理的分野では、教科書と資料集を利用して地理的な視点を養っていきます。さらに、地図帳を使って自ら主体的に地図を読み取り、調べる作業を行います。各単元終了後、問題集にて知識の定着をはかります。

公民的分野では、教科書をしっかり読むことで、基礎的な概念、用語を習得した上で現代に起こっている社会的事象を学びます。教科書の流れに沿って、資料集の図や写真を利用し、より深く内容を理解します。各単元終了後、問題集で知識の定着をはかります。

#### 講座の到達目標

地理的分野では、まず、日本の地域構造や特色を理解します。さらに、広い視野に立って地球や世界の諸地域の特色を理解し、地理的認識を養います。様々な地域を比較・関連付けて考察し、世界の人々の生活や環境の共通性と多様性を理解します。

公民的分野では、人権に対する正しい認識を身につけ、民主主義の意義、法、経済活動に関する学習を通じて、個人と社会との関わりに対する理解を深めます。また、国際社会の諸問題を扱い、現代の社会的事象に関心を高めるとともに、現在や未来の社会に対して多角的、また公正に判断する能力を養います。

#### 評価の観点・テスト・課題など

定期考査、課題考査、小テスト、宿題やノートなどの提出物、授業や学習に取り組む態度など、総合的に評価します。授業では、単元ごとに問題集等、授業内容の復習ができる課題を宿題とします。長期休暇においても復習中心の課題を出し、各学期ごとに課題考査を実施します。

#### 備考

生徒の学習状況、理解の度合いなどを考慮し、講習などを行う場合があります。

## 授業の計画

### 1 学期 学習計画および学習内容

#### 《地理的分野》

- 第3章 世界の諸地域
  - 3 統合を強めるヨーロッパの国々
  - 4 世界に大きな影響力をもつ北アメリカ
  - 5 南アメリカの開発と環境
  - 6 他地域と結びつくオセアニア
- 第4章 世界のさまざまな地域の調査
- 第2編 日本のさまざまな地域
  - 第1章 日本の地域構成
  - 第2章 世界からみた日本のすがた
  - 第3章 日本の諸地域
    - 1 九州地方
    - 2 中国・四国地方
    - 3 近畿地方
    - 4 中部地方

### 2 学期 学習計画および学習内容

- 5 関東地方
- 6 東北地方
- 7 北海道地方
- 第4章 身近な地域の調査

#### 《公民的分野》

- 第1章 わたしたちの暮らしと現代社会
  - 1 わたしたちが生きる現代社会
  - 2 現代につながる伝統と文化
  - 3 わたしたちがつくる社会
- 第2章 人間を尊重する日本国憲法
  - 1 民主政治を支える憲法
  - 2 憲法が保障する基本的人権
  - 3 わたしたちの平和主義
- 第3章 わたしたちの暮らしと民主政治
  - 1 民主主義と日本の政治

### 3 学期 学習計画および学習内容

- 2 司法権の独立と裁判
- 3 地方自治と住民の参加
- 第4章 わたしたちの暮らしと経済
  - 1 消費生活と市場経済
  - 2 生産のしくみと企業・金融
  - 3 財政と政府の役割
- 第5章 安心して暮らせる社会
  - 1 労働と社会保障
  - 2 これからの日本経済の課題
- 第6章 国際社会に生きるわたしたち
  - 1 国際社会が抱える課題
  - 2 国際社会を支えるしくみ
  - 3 持続可能な社会の実現に向けて